

**事例7** ルーブリックによる評価基準を設定し、目的、場面、状況に応じたよりよい発表に向けて粘り強く、自己調整を図ることをねらった事例

○学年 第5学年

○主な領域 「話すこと [発表]」

○事例のポイント

- ①コミュニケーションを行う目的、場面、状況が明確な言語活動を設定する。
- ②よりよい発表にするために、ルーブリックによる評価基準を児童と話し合っ設定し、児童の主体性を引き出す。
- ③児童の思考を深めるために、単元計画や学習方法、学習形態を工夫する。

**ICTを活用した主な学習場面**

友達を紹介する動画を作成し、学級内及び他校と共有する。

**ICT活用の利点**

- ①自分自身が英語で発表する様子を撮影し、自分のパフォーマンスを何度も見返すことで、自分の課題を明確にし、自分のパフォーマンスを客観的に自己（相互）評価することができる。
- ②共有アプリケーションに保存された友達の映像を視聴することで、友達の多様な考えに触れ、自分の考えを再構築することができる。
- ③作成した友達の紹介動画を、他校の児童と共有し、交流することができる。

1 単元名 Lesson 6 Can you walk on takeuma?

2 単元について (略)

3 児童の実態と本単元の意図 (略)

**4 単元の目標**

自分の友達を紹介する動画を共有し交流することを通して、〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話すことができる。

・助動詞 can や代名詞を用いて、自分や他の人ができることやできないことを言うことができる。 〈知識及び技能〉

・〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話している。

〈思考力, 判断力, 表現力等〉

・〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話そうとしている。

〈学びに向かう力, 人間性等〉

**5 単元の評価規準**

(本単元における「聞くこと」及び「話すこと [やり取り]」「読むこと」「書くこと」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」 発	<p>〈知識〉</p> <p>①助動詞 can や代名詞のうち、活用頻度の高い基本的なものについて理解している。</p> <p>〈技能〉</p> <p>②I can (can't)～.He (She) can (can't)～.を用いて、自分や他の人ができることやできないことを伝える言い方を身に付けている。</p>	<p>①〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話している。</p>	<p>①〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話そうとしている。</p>

## 6 単元計画

時	◆目標・〇活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	
1	<p>◆自分ができることやできないことを表す表現が分かる。</p> <p>〇Greetings, About Today, Sing a Song</p> <p>〇ペラペラタイム (Small Talk) 既習表現をもとに、テーマに合わせてその場で会話する。</p> <p>〇Introduction 本時で学習する表現に関連した会話を学習者用デジタル教科書で聞く。</p> <p>〇単元の見通しをもつ。</p> <p>〇Mission 本時のめあてを確認する。</p> <p>〇Communication Practice 本時で学習する単語や表現を知る。</p> <p>〇Question 教科書の問題を考える。</p> <p>〇Demonstration HRTとALTのやり取りを聞き、本時のActivityについて知る。</p> <p>〇Activity</p>				<p>◎評価規準〈評価方法〉</p> <p>※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。</p>

編 P149 指導計画の作成の留意事項(2)

	<p>友達や ALT と言語活動を行う。 「ペアの友達と互いのできるこ と（できないこと）を伝え合お う。」 ※教科書記載の動詞に限る。 (play, make, swim, run 等) ○Reflection, Greetings</p>				
2	<p>◆自分や相手ができることやできないことを尋ね合うことができる。できることの語句を読 んで、書き写すことができる。</p> <p>○Greetings, About Today, Sing a Song ○ペラペラタイム (Small Talk) ○Introduction ○Mission ○Communication Practice ○Question ○Demonstration ○Activity1 「学級の友達と、互いのできる こと（できないこと）を伝え合 おう。」 ※教科書記載の動詞に加えて、自 分が尋ねたいことを ICT 機器等 で調べることも可とする。 ○Activity2 「自分ができることやできない ことをノートに書き写そう。」 ○Reflection, Greetings</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導を行う が、記録に残す評価はしない。</p> <div data-bbox="917 694 1433 945" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>事例のポイント③</b> 学習者用デジタル教科書を活用し、 自分の習熟度に合わせて、音声のス ピードを調整したり、問題に繰り返 し取り組んだりすることができるよ うにする。</p> </div> <div data-bbox="922 958 1433 1258" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>学習者用デジタル 教科書の画面</p> </div>
3	<p>◆友達ができることを他の友達に紹介することができる。</p> <p>○Greetings, About Today, Sing a Song ○ペラペラタイム (Small Talk) ○Introduction ○Mission ○Communication Practice ○Question ○Demonstration ○Activity 「ペアの友達ができることやで きないことを、グループの友達 に紹介しよう。」</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導を行う が、記録に残す評価はしない。</p>

	<p>※第1時で会話したペアの友達ができること(できないこと)を、縦の席の友達に3文程度で紹介する。</p> <p>○Reflection, Greetings</p>				
4	<p>◆友達ができることを他の友達に紹介することができる。</p> <p>○Greetings, About Today, Sing a Song</p> <p>○ペラペラタイム (Small Talk)</p> <p>○Introduction</p> <p>○Mission</p> <p>○Communication Practice</p> <p>○Demonstration</p> <p>○Activity</p> <p>「ペアの友達ができることやできないことを、グループの友達に詳しく紹介しよう。」</p> <p>※第1時で会話したペアの友達ができること(できないこと)を、できるだけ多く縦の席の友達に紹介する。</p> <p>○Question</p> <p>○Reflection, Greetings</p>	<p>発</p> <p>①</p> <p>発</p> <p>②</p>			<p>◎助動詞 can や代名詞のうち、活用頻度の高い基本的なものについて理解している。〈ノート点検〉</p> <p>◎I can (can't)～.He (She) can (can't)～.を用いて、他の人ができることやできないことを伝える言い方を身に付けている。〈行動観察〉〈映像分析〉</p>
					<p>編 P149 指導計画の作成の留意事項(6)</p>
5	<p>◆他の人ができることを尋ねたり答えたりすることができる。できることの語句を読んで、書き写すことができる。</p> <p>○Greetings, About Today, Sing a Song</p> <p>○ペラペラタイム (Small Talk)</p> <p>○Introduction</p> <p>○Mission</p> <p>○Communication Practice</p> <p>○Question</p> <p>○Demonstration</p> <p>○Activity</p> <p>「ペアの友達ができることやできないことを、尋ね合おう。」</p> <p>※学級内で、ペアの友達ができることやできないことについて、クイズ形式で尋ね合う。</p> <p>○Question</p> <p>○Reflection, Greetings</p>				<p>※本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価はしない。</p>
					<p>編 P149 指導計画の作成の留意事項(2)</p>

6	<p>◆○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話すことができる。</p> <p>○Greetings, About Today, Sing a Song</p> <p>○ペラペラタイム (Small Talk)</p> <p>○Mission</p> <p>○Communication Practice</p> <p>○Activity 「これまで学習した表現を使って、工夫して友達紹介をしよう パート1」</p> <p>○Reflection, Greetings</p>		<p>発</p> <p>①</p>	<p>発</p> <p>①</p>	<p>◎○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話している。</p> <p>〈行動観察〉〈映像分析〉</p> <p>◎○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話そうとしている。</p> <p>〈行動観察〉〈ノート点検〉</p> <p>※本事例では、6、7時間目において、同一の評価基準を設定し、児童の変容に応じて適宜評価を修正することとする。</p>
<p>事例のポイント② ルーブリックによる評価基準を児童と話し合っ て設定し、児童の主体性を引き出す。</p>					
<p>指・評 P220 単元の指 導と評価の計画例(2)</p>					
7	<p>◆○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話すことができる。</p> <p>○Greetings, About Today, Sing a Song</p> <p>○ペラペラタイム (Small Talk)</p> <p>○Mission</p> <p>○Communication Practice</p> <p>○Activity 「これまで学習した表現を使って、工夫して友達紹介をしよう パート2」</p> <p>○Reflection, Greetings</p>		<p>発</p> <p>①</p>	<p>発</p> <p>①</p>	<p>◎○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話している。</p> <p>〈行動観察〉〈映像分析〉</p> <p>◎○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、簡単な語句や基本的な表現を用いて友達の特徴を話そうとしている。</p> <p>〈行動観察〉〈ノート点検〉</p> <p>※本事例では、6、7時間目において、同一の評価基準を設定し、児童の変容に応じて適宜評価を修正することとする。</p>

## 7 本時の展開

目標 ○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、既習事項を使って自分の友達の特徴を紹介することができる。

準備 ICT端末・・・ICT、大型モニタ・・・モニタ、教師用PC・・・PC  
 デジタル教材・・・デジ教、四線黒板・・・四線、ノート・・・ノート  
 絵カード・・・絵カ

○本時の展開 (6 / 7)

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価 (方法)	準備物
10分	<p>○Greetings</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     Let's start today's English class. Good afternoon, class.                      How are you today? I'm good.                 </div> <p>○About Today</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気、曜日、日付等を答える。</li> </ul> <p>○Sing a Song</p> <p>「Action Songs for kids」</p> <p>○ペラペラタイム (Small Talk)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元のテーマ (冬の○○) に合わせて、1分間、ペアの友達とその場で会話する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体だけでなく、個別にも挨拶を行うようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     How is the weather?                      What day is it today?                      What's the date today?                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に質問する。</li> <li>・音楽をかけ、個別指導をしながら一緒に歌う。</li> <li>・会話の見通しがもてるよう、○○の例 (食べ物、行事、スポーツ等) について説明する。</li> <li>・既習表現を効果的に活用していたペアに発表させ、良かったところを共有してから、再度活動させる。</li> </ul>	<p>準備物</p> <p>絵カ</p> <p>PC</p> <p>モニタ</p> <p>絵カ</p>
30分	<p>○Demonstration</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HRT が事前に撮影した動画を見る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     HRT の友達紹介                      She can run fast.                      She can eat tomatoes.                      She can't cook.                      She can't play the piano.                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>事例のポイント③</b>                      うまくできていない動画を示すことで、目的、場面、状況に適した動画にするための工夫について考えられるようにする。                 </div> <p>○Mission</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のめあてを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る視点を伝える。</li> </ul> <p>HRT の動画の課題はどこか。          どう工夫すればよいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・違う学校の友達に送る動画としては、HRT の紹介では不十分であることに気付かせ、よりよい動画にするための工夫について考えることを伝える。</li> </ul>	<p>PC</p> <p>モニタ</p>
	<p>○Mission</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のめあてを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT が本時の活動について説明する。</li> </ul>	



・何人かの児童に聞こえてきた表現を尋ね、本時の Mission につなげるようにする。

事例のポイント①  
 児童にとって必要感があり、意欲が高まる課題を設定する。  
 We make videos to introduce our friends. We exchange videos with friends from other schools....

これまで学習した表現を使って、工夫して友達紹介をしよう。 パート 1

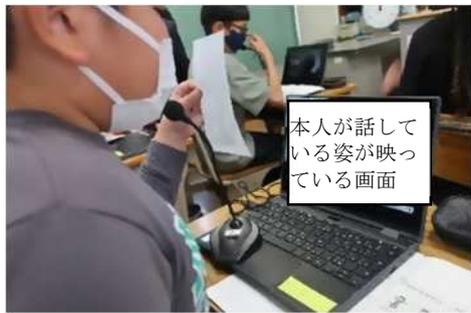
～目的、場面、状況～  
 ・〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、これまで学習した表現を使って自分の友達の特徴を紹介する動画を撮影して送る。

事例のポイント①  
 目的、場面、状況が明確な言語活動を設定する。

**ICT活用の利点③**  
 共有アプリケーションを活用することで、作成した友達紹介動画を他校の児童と共有することができる。

〇Activity

①ペアの友達の紹介文を考え、動画を撮影する。



・忘れてしまった表現や知りたい表現があるときは、HRT や ALT、また友達に聞いたり、学習者用デジタル教科書やインターネットを使用して調べたりしてもよいことを伝える。

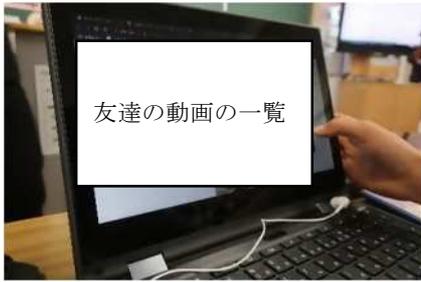


**ICT活用の利点①**  
 自分のパフォーマンスを見返すことで、自分の課題を明確にさせることができる（音声が適切に録音されるよう外付けマイクを使用した）。



事例のポイント③  
 忘れてしまった表現や知りたい表現があった場合は、HRT や ALT、友達に聞いたり、学習者用デジタル教科書やインターネットを使用して調べたりするなど、自分にとって最適な方法を選択できるようにする。

- ・撮影した動画を提出し、友達の動画を視聴する。



- ・工夫している児童の動画を全体で共有し、よいところを見つけさせる。

**ICT活用の利点②**

動画ファイルを共有アプリケーションに保存することで、全児童の映像を視聴させることができる。

**事例のポイント③**

友達の動画を視聴することで、友達の動画との比較を通して自分の課題に気付けるようにする。

**②中間指導**

- ・効果的な工夫をしている児童の動画を示し、よいところを見つける。
- ・見る相手を意識した動画にするために必要なことについて話し合う。

**事例のポイント②**

言語活動の目的、場面、状況に立ち戻らせ、工夫している児童の動画をもとに、「効果的な工夫」について、考えさせるようにする。

指・評 P220 単元の指導と評価の計画例(2)

**事例のポイント②**

児童が発言した「効果的な工夫」を板書し、児童と合意形成を図りながら、評価基準を作成する（本時で使ったループリックによる評価基準については、欄外に示す）。

- ・ループリックによる評価基準について話し合う。

- ・ALT が事前に撮影した動画を見て、ループリックによる評価基準に即して評価を行う。

**事例のポイント②**

ALT の動画を児童と一緒に評価することで、評価基準に即した評価について理解を深められるようにする。

- ・次の点について確認する。

- ①動画を見るのは、互いに知らない友達であること。
- ②友達づくりのきっかけになるような内容にすること。
- ③動画を見ている人に、理解してもらえるようにすること。

**実際に児童が発表した効果的な工夫**

- ・できないことよりできることを伝えるとよい。
- ・まず、自己紹介をする。
- ・ジェスチャーすると伝わりやすい。
- ・友達の性格も伝える。
- ・友達が好きなことも伝える。
- ・笑顔で撮影する。
- ・聞こえやすい声で話す。
- ・カメラを見て撮影する。（メモを見ない）
- ・何回も撮影してよいものを選ぶ。等
- ・児童と合意形成を図りながら、評価基準を作成する。
- ・この評価基準は、次時も同一であることを伝えるとともに、本時で目指す評価を決めるよう助言する。
- ・ループリックによる評価基準に即して、児童と一緒に ALT の動画を評価する。

四線

PC

モニタ

PC

モニタ

ICT

	<p>② 紹介文を改善し、再度撮影をする。</p>  <div data-bbox="268 537 758 739" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>事例のポイント③</b> 必要に応じて、ペアやグループなど児童が学習形態を選びながら、友達と相談しながら活動を進められるようにする。</p> </div> <p>④ ルーブリックによる評価基準に即して、自身の動画及びペアの友達の動画を評価し、伝え合う。</p> <div data-bbox="268 1008 1300 1153" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>事例のポイント②</b> 自己評価に加えて、ペアの友達と相互評価させることで、自分の動画について客観的に振り返りができるようにする。</p> </div>	<p>◎○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、できることやできないことを表す表現について理解を深め、既習事項を使って自分の友達の特徴を話している。</p> <p>【思・判・表】発①〈行動観察〉〈映像分析〉</p> <p>◎○○中で一緒に学習する○○小の友達と仲良くなるために、できることやできないことを表す表現について理解を深め、既習事項を使って自分の友達の特徴を話そうとしている。</p> <p>【態】発①〈行動観察〉〈映像分析〉</p>	<div data-bbox="1324 123 1420 168" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">モニタ</div> <div data-bbox="1324 380 1420 436" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ICT</div> <div data-bbox="1324 1097 1420 1153" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ICT</div>
5分	<p>○Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめをする。</li> <li>・本時の学習の振り返りをノートに記入する。</li> </ul> <p>○Greetings</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに即したまとめをする。</li> <li>・本時の課題に対して、「気付いたこと・上手だった友達とその理由・次時で頑張りたいこと」の視点のうち、いくつか選んで記入するよう伝える。</li> </ul>	<div data-bbox="1324 1176 1420 1220" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">四線</div> <div data-bbox="1324 1243 1420 1299" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">PC</div> <div data-bbox="1324 1321 1420 1366" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">モニタ</div>

〈ルーブリックによる評価基準〉

ルーブリックによる評価基準については、「7 本時の展開」における「Activity ②中間指導」において、予め教師が設定した「仮の評価基準」をもとに、次のように設定する。

- (1) 本言語活動の目的、場面、状況に立ち戻らせ、本時の目標について児童と一緒に再確認する。
- (2) 児童が作成した動画を視聴させるとともに、効果的な工夫をしている児童の動画を大型モニタで示す。
- (3) 友達の動画の「よかったところ」や「工夫されていたところ」について、学級で話し合い、キーワードをまとめていく。

※「7 本時の展開」における 実際に児童が発表した効果的な工夫 参照

(4) (3) でまとめたキーワードを、合意形成を図りながらA、B、C等の段階に類型化する。

**【思考・判断・表現】の評価基準**

A：〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、その友達の特徴についてより詳しく（友達の性格、友達が好きなこと等）話すとともに、見る相手に伝わるように工夫（文の構成等）して話している。

B：〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、その友達の特徴について話すとともに、見る相手に伝わるように話している。

C：〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、その友達の特徴について、教師や友達の助けのもとで話している。

**【主体的に学習に取り組む態度】の評価基準**

A：〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、見る相手に伝わりやすい動画となるよう、自分の目標をもって試行錯誤（友達の動画や学習者用デジタル教科書を参考にする等）しながら、粘り強く話そうとしている。

B：〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、見る相手に伝わりやすい動画となるよう、粘り強く話そうとしている。

C：〇〇中で一緒に学習する〇〇小の友達と仲良くなるために、自分の友達を紹介する動画を作成し、見る相手に伝わりやすい動画となるよう、教師や友達の助けのもとで、粘り強く話そうとしている。

**事例のポイント②**

児童の主体性を引き出せるよう、ルーブリックによる評価基準を児童と話し合って設定するようになる。